

岐阜県立岐阜農林高等学校

学校長

高田 広彦

学校住所

本巣郡北方町北方 150

電話 058-324-1145

1 会議名 令和6年度 岐阜農林高等学校運営協議会（第2回）

2 開催日時 令和6年10月9日（水） 13:30～15:30

3 参加者

会長	住田真佐子	北方町民生委員
委員	川瀬 和弘	北方町立北学園校長
	安藤 貴広	本巣市立糸貫中学校長
	寺田 幸広	岐阜市立岐阜西中学校長
	所 紗也香	大垣共立銀行ぎふ県庁支店長
	伊藤 泉	本校育友会役員
学校側	高田 広彦	校長
	三輪 孝司	教頭
	中野 輝良	教頭
	井ノ浦慎司	教務主任
	出村 敏行	進路指導主事
	大山 卓英	農場長

4 会議の概要（協議事項）

（1）授業参観

主に学校農場（屋内）における専門科目での学びの様子を参観

（意見1） 実学を重視し、学んだことが目の前でかたちになる学習スタイルは、生徒たちにとって充実感が高く、やりがいがあると感じた。

（意見2） 学んだ知識・技術をアウトプットできる機会を大切にしている、生徒が自ら考え、課題や状況に応じて対応することで力を付けている様子であった。

（意見3） 探究的な学習が工夫されているとともに、生徒が主体的に学べる環境が作られており、学んでいる生徒の目が輝いていて素晴らしい。

（2）本年度の教育指導の重点を踏まえた本校の近況報告について

（特に意見はなし）

第1回協議会において承認された教育指導の重点及び学校経営計画をもとに、学習支援、進路支援、生徒支援、指定事業を中心に、上半期の取組状況を学校側から説明した。

（3）令和6年度学校評価の結果と分析について

（意見1） 「学校の職員は、働き方改革に努めている」の項目について評価が低い、「一人一人のよさや可能性を伸ばすことに努めている」の項目等がの評価が高いことから、先生方は大変だが、生徒に寄り添って指導されていることの表れでもある。

(意見2) 「生徒会活動が活発である」の項目について評価が低い、授業参観での生徒の様子と見比べると、評価が低いことは不思議に思える。

スポーツDAYや校則の改訂に向けた協議など、多くの生徒会活動に取り組ませているが、生徒が「生徒会の活動である」という認識をしていない可能性も考えられるので、今後さらに生徒へ生徒会活動に対する理解が進むよう留意していくことを学校側から説明した。

(4) スクールミッション (案) について

岐阜農林高校に期待される社会的役割、存在意義、目指すべき学校像について委員と学校職員による意見交換を行い、案を作成した。

(案) 岐阜県の農林業のリーダーとなり、地域や社会を支える担い手を輩出する高校として、実験・実習、課題研究等の探究的な学びや産業界・大学等と連携した高度で専門的な学びを通して、グローバルな視点を持ち、豊かな人間性、職業人に必要な幅広い知識、優れた技術を身に付け、他者との協働により、地域や社会の課題解決に貢献できるスペシャリストの育成を目指す学校。

(意見1) 第4次岐阜県教育ビジョンを踏まえており、岐阜農林高校の持ち味を生かしつつ、果たすべき役割についても触れられていて、分かりやすい。

作成した案について承認を得た。今後、教育委員会へ提出し、助言を得たのち第3回学校運営協議会において最終決定することを学校側から説明した。

(5) 全体を通して

(意見1) 生徒たちがとても楽しそうに学んでいる様子だった。仲間や先生との関わりが深く、何でも相談でき、話しやすい関係づくりができていると感じた。

(意見2) 地域との結びつきがしっかりしていて、関係を大切にしている。学校で学んだことを生かして地域の企業等と連携した実践的な学びに繋がっていて良い。

(意見3) 地域の小中学生から見ると、岐阜農林高校生の姿は今も昔もあこがれの存在である。頑張る生徒が多く、今後も活躍してほしい。

5 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、授業参観において生徒の様子を実際に見ていただき、意見を得るとともに、デジタル補助教材の活用や、保護者への連絡文書等のデジタル化などにも触れながら、今後の授業展開や学校運営について助言をいただいた。また、スクールミッションについては、意見交換を実施した上で原案を作成した。

委員の皆様には、引き続き第3回の学校運営協議会において、当校における今年度の取組の評価及び次年度以降、目指すべき姿や方向性についての助言をいただきたい。